

まちの風景を変える

“ひと” が生まれる土壌づくり

「まちづくり」と一言に言っても、手法は様々で、意識はあってもなかなか一歩を踏み出すことが難しい上に、「まちづくりは行政が行うもの」と思い込んでいる市民が多いのも事実です。

しかし、近隣の地域に目を向けてみると、行政の手を借りず、実験的に自ら行動し、そこに込めた「想い」が波及して、街の風景を変えている人（プレイヤー）がいます。

そこで、それらの地域のプレイヤーをお招きし、自ら行動するに至った経緯や、そこに立ちはだかった問題や、それをクリアした解決法をお話いただき、富士見市の風景を変えるプレイヤーが生まれる土壌づくりに役立てていけたらと思います。

【と き】 平成 31 年 **2 月 23 日(土)** **13:00～16:00** (開場:12:30)

【ところ】 **水谷公民館** 富士見市水谷 1-13-6 (東武東上線みずほ台駅東口下車徒歩約 15 分)



【パネリスト①】

荒木 牧人 (あらき まきと)
株式会社 80%代表取締役・maao 代表



【パネリスト②】

佐藤 真実 (さとう まなみ)
シカテ-豊マーケット事務局長



【パネリスト③】

鈴木 美央 (すずき みお)
O + Architecture 主宰

《第 1 部》

パネルディスカッション

『自ら動く市民がまちの風景を変える』

《第 2 部》

ラウンドテーブルディスカッション

*テーブルに分かれてパネリストを交えて話し合います

【参加費】 **無料 ※要申込み**

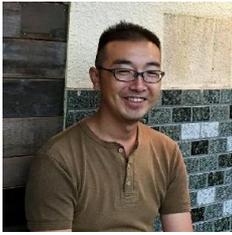
【申込み】 **水谷公民館** (TEL 049-251-1129)



【コーディネーター】

関根 健一 (せきね けんいち)
富士見市公民館運営審議会委員
コウミンカンカフェ 主宰

パネリスト・コーディネーター プロフィール



【パネリスト①】

荒木 牧人 (あらかき まきと)
株式会社 80%代表取締役
maao 代表

施工会社、設計事務所勤務を経て、2013 年荒木牧人建築設計事務所(現:maao)設立。39歳で地域の自治会長に就任。自治会活動の経験を元に第3回リノベーションアイデアコンペに応募、優秀作品賞を受賞。その後、リノベーションスクール・プロフェッショナルコースでの学びを終え、地元で実践開始。

2016年 株式会社80%(エイティパーセント)を設立。

2017年6月 第1号案件「すずのや」「glin coffee 大工町店」

2018年2月 第2号案件「coworking space ダイクマチ」をDIY中心に施工し、運営開始。

現在も様々なエリア・リノベーションを展開中。



【パネリスト②】

佐藤 真実 (さとう まなみ)
シカテェ壘マーケット事務局長

さいたま市南区鹿手袋を中心に、広告グラフィックデザインを仕事にしながら、まちづくりや場づくり・地域イベントなどを企画するシカ(仕掛)け人。

東日本大震災をきっかけに、それまで全く意識をしてこなかった自分と地域との関係性に興味を持ち、地域の中での人とのつながりや、自分の居場所づくりを開始。

町の集会所と珈琲のチカラを活用した地域サロン「鹿手袋シカテェカフェ」、

住宅街の巨大倉庫を活用したフリマ「シカテェ壘マーケット」、自宅を一部開放して交流拠点をつくる住みびらきの家「さとうさんち」などを企画運営。自分の思い描くコミュニティを創造する“コミュニティアーティスト”(世界でまだ1人だけ!)として活動中。



【パネリスト③】

鈴木 美央 (すずき みお)
O + Architecture 主宰

志木市館在住。早稲田大学工学部建築学科卒業。

卒業後渡英、英国を拠点とする設計事務所Foreign Office Architects Ltd にて2006年より2011年まで勤務。コンセプトステージから竣工まで、世界各国のプロジェクトを担当。

2011年に帰国後、慶應義塾大学理工学研究科勤務、文部科学省指定プロジェクト研究員などを歴任。

2016年より O+Architecture を主宰し、建築意匠設計、公共施設の広場利用計画の策定、自治体のアドバイザー、マーケット企画・運営と建築に関わる業務を多岐に行う。

現在は研究と実践を両輪とし、2016年 Yanasegawa inkを設立し、代表に就任。同団体が主催する「Yanasegawa Market」は、2018年までに7回を数え、街の賑わいの場として定着しつつある。

2017年博士号(工学)取得。二児の母でもあり、親と子の居場所としてのまちの在り方も探求中。

著書に「マーケットでまちを変える ~人が集まる公共空間のつくり方~」(学芸出版社)。



【コーディネーター】

関根 健一 (せきね けんいち)
富士見市公民館運営審議会委員
コウミンカンカフェ 主宰

富士見市水子生まれ・在住。

富士見市消防団本部員、富士見市立富士見特別支援学校PTA会長、富士見市PTA連合会会長、富士見市第5次基本構想・中期基本計画総合計画審議会委員、富士見市ひと・まち・しごと創生会議委員(公募)

脳性麻痺で知的、身体に障害がある長女の子育てを通して、障害者目線でのまちづくりに興味を抱く。

「公共と民間の境界をゆるやかにつなぐ」をコンセプトに、公民館をコーヒーの香りで満たす「コウミンカンカフェ」や、自宅のガレージを地域に開放する「ゆるやかな境界プロジェクト」を主宰する。